

CaptivAD DSA-2200S

Stand alone Media Player

取扱説明書



株式会社シルバーアイ

Version 2.1

目次

1.	クイックスタート	1
1.1	HDMI/VGA 入力可能なディスプレイと接続.....	1
1.2	USB メモリにファイルを保存する	1
1.3	プレーヤーに USB メモリをセットする	1
1.4	コンテンツの再生開始	1
1.5	コンテンツを更新する	1
2.	対応ファイルフォーマット(Supported Formats)	1
3.	映像出力の設定(Video Output)	2
4.	ファイル名によるコンテンツの再生コントロール.....	4
5.	スケジュール再生(Daily Schedule).....	4
6.	画像フォーマットとエフェクト(Format & Effects).....	5
6.1	画像のファイルフォーマット	5
6.2	画像の再生エフェクト	5
7.	プレーヤーの制御設定.....	7
7.1	プレーヤーOFF 設定 (フォルダコントロール)	7
7.2	メニュー情報.....	8
7.3	SD カードのステータス確認とフォーマット	9
7.4	日時・時刻の設定.....	10
7.5	アスペクト比の変更.....	11
7.6	パスワード (メニューロック)	12
7.7	出力設定の変更 (Output setting)	14
7.8	デイリーリブートタイムの設定.....	14
8.	USB オートコピーと消去(Copy & Erase)	15
8.1	コピーと消去	15
8.2	ファームウェアのアップデート	15

8.3 SD カードをクリアする	16
9. 設定画面 (OSD) のサイズ変更	16

1. クイックスタート

1.1 HDMI/VGA 入力可能なディスプレイと接続

HDMI/VGA 二種類の映像出力が可能です。

出力解像度は 1080p (1920×1080) と 720p (1280×720) の 2 種類から設定できます。(購入時は HDMI と VGA の両方のポートから 720p にて出力するように設定されています) 必ずディスプレイに合わせた出力設定を行ってご使用ください。

※詳しくは「3.映像出力の種類」または「7.7 出力設定の変更」を参照ください。

※一部のディスプレイは購入時のデフォルト出力設定で出力した場合に正しく受像できないことがあります。必ずご使用のディスプレイに合わせた出力設定をしてください。

1.2 USB メモリにファイルを保存する

再生するコンテンツファイルを USB メモリのルートディレクトリ(USB メモリドライブ直下)に保存します。

1.3 プレーヤーに USB メモリをセットする

USB メモリをプレーヤーの USB スロットに挿入して、本機を付属 AC アダプターと接続します。プレーヤーはファイルを自動的に USB メモリからコピーします。コピー終了後 USB メモリを取り外します。本機稼働中の場合は USB メモリを本機に挿入後に一度本機の電源を切って再起動する必要があります。プレーヤーはブート時にコンテンツをコピーします。

※必ずコピー終了後メディアファイルの再生が始まってから USB メモリを本機から抜いてください。

1.4 コンテンツの再生開始

取り込んだコンテンツファイルがコピー終了後に再生されます。

1.5 コンテンツを更新する

新しいコンテンツを更新する際は、ステップ 1.2～1.3 の手順を繰り返して更新作業を行います。

2. 対応ファイルフォーマット(Supported Formats)

Video: MPEG-1,MPEG-2 , MPEG-4 , WMV9 (MPEG-4の再生を推奨します)

MPEG-4.10(H.264) BP@L3, MP@L4.0, HP@L4.0

SMTPE 421M(VC-1) MP@HL, AP@L3

WMV9 MP@HL

MPEG-2 MP@HL

MPEG-4.2 ASP@L5(up to HD,1-point GMC)

HP@L4: High profile(1280x720@68.3fps, 1920x1080@30.1fps)

MP@HL : Main Profile (1280x720@60fps, 1920x1080@30fps)

Audio:

MP3、AAC (WMA はサポートしていませんのでご注意ください)

Image:

JPG、BMP、PNG

ご注意：

オーディオファイルのみ再生する際は、画面には何も映りません。

3. 映像出力の種類(Video Output)

プレーヤーは HDMI もしくは VGA から映像出力します。映像出力の設定について、リモコンの Output ボタンを押してきりかえるか、コンテンツファイルとともに USB メモリに下記の出力設定ファイルを保存して更新ができます。ファイル名のフォーマットは **output-xxx-\$\$\$p.sch** で、合計 5 種類です。

■ **output-hdmi-1080p.sch** →HDMI 端子で 1080p で出力させる場合

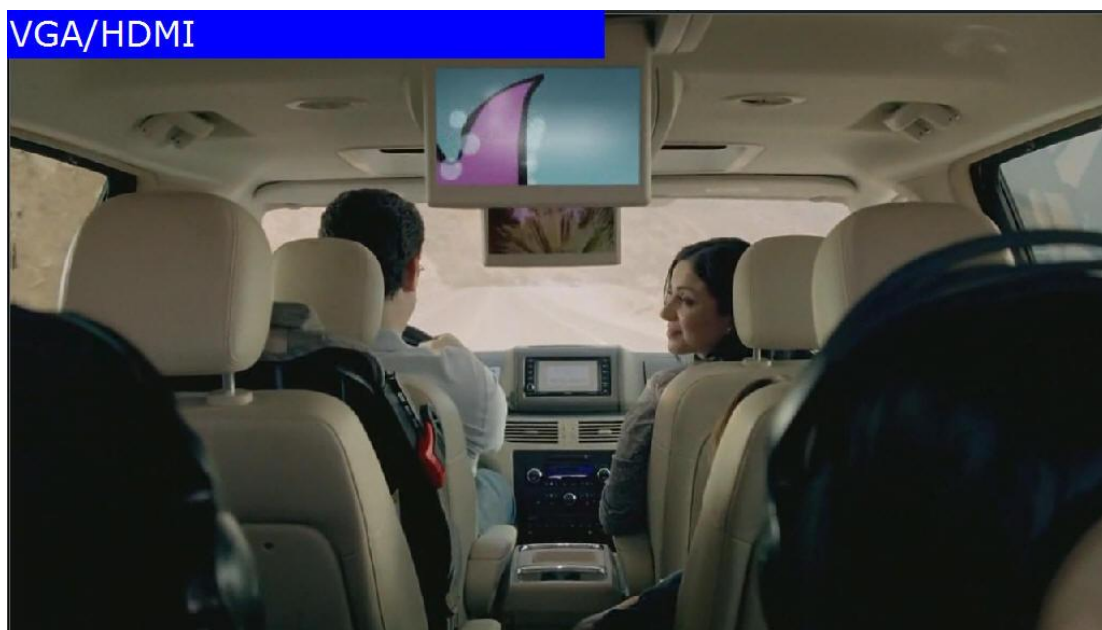
■ **output-hdmi-720p.sch** →HDMI 端子で 720p で出力させる場合

■ **output-vga-1080p.sch** →VGA 端子で 1080p で出力させる場合

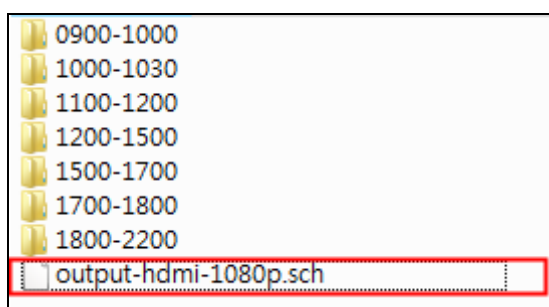
■ **output-vga-720p.sch** →VGA 端子で 720p で出力させる場合

■ **output-default.sch** →設定を初期値に戻します

ご注意：ファイル名はすべて小文字で入力ください。出力設定の間違いなどで画面が映らない状態になった場合、上記の設定ファイルを作成し USB メモリを通してコピーすることで復帰させることができます。もし映像出力設定をしていない場合、設定はデフォルト設定である、Both HDMI & VGA となります。画面の左上に正しい出力設定を促すため、“HDMI/VGA” の点滅表示をします。

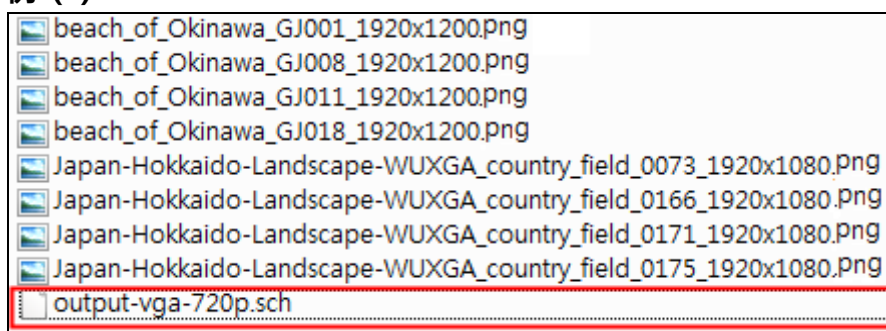


図示：例(1)



例(1)プレーヤーの映像出力では HDMI 1080P に設定されます。

例 (2)



例 (2)プレーヤーの映像出力では VGA 720P に設定されます。

ご注意：

USB メモリを使用してコンテンツを内部 SD カードにコピーする際、USB メモリ内に上記の設定ファイルがない場合、設定情報は前の情報が引き継がれます。USB メモリ内に設定ファイルがある場合、出力設定は設定ファイルに従い変更されます。また初期値に戻したい場合は “output-default.sch” を USB メモリに保存してコピーしてください。

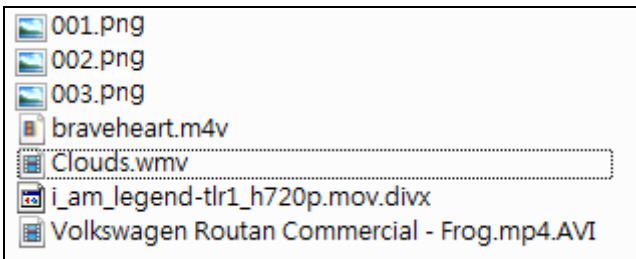
4. ファイル名によるコンテンツの再生コントロール

コンテンツのファイル名の英小文字と英大文字がすべて異なるものとして認識されます。よって A.jpg と a.jpg とは異なるファイルとして認識されます。その再生順序は昇順(ascending order)となりますが、英小文字と英大文字が混在したファイルがあると、英大文字のファイルを先に再生し、次に英小文字のファイルを再生します。つまり “A” というファイルは “a” よりも先に再生されることになります。英語または数字のファイル名に対応します。

ご注意： ファイル名に “&” や “()” などの記号を使わないでください。

上記の例を含んだファイル名のファイルは再生できません。

図示：



上記例の場合、ファイル名により再生順序は以下の通り：

001.png

002.png

003.png

Clouds.wmv

Volkswagen Routan Commercial - Frog.mp4.AVI

braveheart.m4v

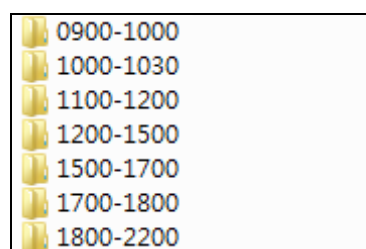
i_am_legend-tlr1_h720p.mov.divx

5. スケジュール再生(Daily Schedule)

USB メモリからプレーヤーの SD カードのルートディレクトリにオートコピーされたコンテンツファイルはデフォルトのプレイリストとして再生されます。時間帯別にスケジューリングして再生をするためには、まず新規フォルダを作成し、フォルダ名を下記のルールに従って変更してください。**hhmm-hhmm** , hh は 24 時間制で表す時、mm は分を示します。

例： 新規フォルダの名前は 0830-1400 にすると午前 8 時 30 分から午後 2 時までフォルダ内のコンテンツが再生されます。

図示：



0900-1000 は午前 9 時から 10 時までフォルダ内のファイルが再生されます。

1000-1030 は午前 10 時から 10 時 30 分までフォルダ内のファイルが再生されます。

1100-1200 は午前 11 時から 12 時までフォルダ内のファイルが再生されます。

1200-1500 は正午 12 時から午後 3 時までフォルダ内のファイルが再生されます。

1500-1700 は午後 3 時から 5 時までフォルダ内のファイルが再生されます。

1700-1800 は午後 5 時から 6 時までフォルダ内のファイルが再生されます。

1800-2200 は午後 6 時から 10 時までフォルダ内のファイルが再生されます。

上記の例でご注意いただきたいのは、10 時 30 分から 11 時までの時間帯を名付けるフォルダが存在しないことです。その場合、ルートディレクトリ内のデフォルトのプレイリストを再生します。コンテンツファイルがないときは、Welcome 画面を表示します。(コンテンツファイルは再生されません)

6. 画像フォーマットとエフェクト(Format & Effects)

6.1 画像のファイルフォーマット

プレーヤーが対応する画像の形式は JPG、BMP、PNG、GIF の 4 種類です。例えば再生する画像のピクセルサイズが 460x290 ~ 1920x1200 でも、それと関係なくフルスクリーン(最大 **1920x1080**)に合わせて画像を自動的にアジャストし再生します。

6.2 画像の再生エフェクト

デフォルトの再生エフェクト(何も設定がされていない場合)は静止画像を 5 秒間隔でランダムにエフェクトをかけて切り替えます。そのエフェクトの変更にはファイル名を次の書式で設定できます。

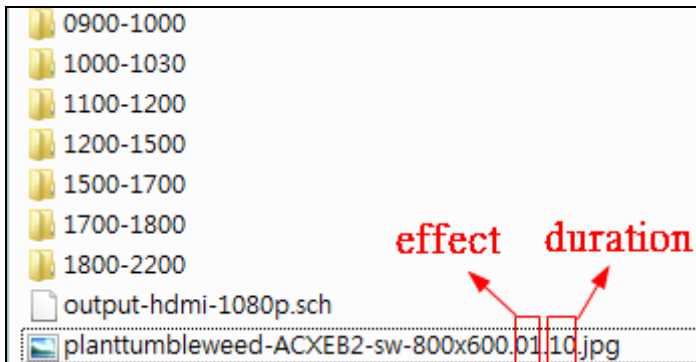
filename.nn.mm.jpg のように nn はエフェクト番号を、mm は再生秒数(sec)を示します。例えば nn に 03 を選択した場合、下記表の 03 のエフェクトで再生します。間隔秒数を示す mm は 12 秒なら、Test01.03.12.png のようになります。ここに Test01.03.121.png のように記載した場合、121 秒は最大設

定秒数以上となるので設定値が無効になりデフォルトエフェクトで再生します。ご注意ください。

画像の再生エフェクトの番号対照表：

Effect no	再生エフェクト名
1	単なる画面切り替え (CHANGE)
2	フライアップ (FLY_UP)
3	フライダウン (FLY_DOWN)
4	フライレフト (FLY_LEFT)
5	フライライト (FLY_RIGHT)
6	スクロールアップ (SCROLL_UP)
7	スクロールダウン (SCROLL_DOWN)
8	スクロールレフト (SCROLL_LEFT)
9	スクロールライト (SCROLL_RIGHT)
10	左から順に (Sequence From Left)
11	右から順に (Sequence From Right)
12	上から順に (Sequence From Top)
13	下から順に (Sequence From Bottom)
14	左からスネーク (Snake From Left)
15	右からスネーク (Snake From Right)
16	上からスネーク (Snake From Top)
17	下からスネーク (Snake From Bottom)
18	ランダムシャッフル (Random Shuffle)
19	クロックワイズシャッフル (Clock Wise Shuffle)
20	クロックワイズシャッフルインナー (Clock Wise Shuffle_Inner)
21	カウンタークロックワイズシャッフル (Counter Clock Wise Shuffle)
22	カウンタークロックワイズシャッフルインナー (Counter Clock Wise Shuffle_Inner)
23	フライアップマルチ (FLY_UP_MULTI)
24	フライダウンマルチ (FLY_DOWN_MULTI)
25	フライレフトマルチ (FLY_LEFT_MULTI)
26	フライライトマルチ (FLY_RIGHT_MULTI)
75	クロスフェード (A→黒→B)
76	クロスフェード (A→白→B)
77	クロスフェード (A→B)
99	ランダム (Random)デフォルト

図示：



01は番号1エフェクトを再生、10は静止秒数10秒で再生することを示します。

7. プレーヤーの制御設定

7.1 プレーヤーOFF 設定（フォルダコントロール）

プレーヤーはフォルダの名称を下記のようにすることで、指定時間電源を OFF にすることができます。

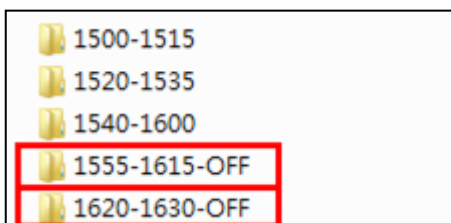
フォルダ内にファイルは必要ありません。

hhmm-hhmm-OFF（**OFF は大文字**）

ご注意： hhmm は 24 時間制で設定ください。**OFF は大文字表記となりますので注意してください。この設定は複数のフォルダを作成することで、電力需要逼迫時のピークカット運転などに対応した利用が可能です。**

例：2100-0700-OFF は 9 PM に自動的に電源が OFF になり、翌 7 時に自動的に ON となります。

図示：



上記の例の場合、プレーヤーは 3：55PM に電源 OFF となり 4：15PM に ON となります。そして 5 分後プレーヤーは 4：20PM に電源 OFF となり、4：30PM に再び電源 ON となります。

ご注意：OFF 設定を解除するには「hhmm-hhmm-OFF」という名前のフォルダーを作成して USB メモリによるコンテンツ更新を行うことで削除できます。

プレーヤーが電源 OFF となる前にディスプレイに警告メッセージが流れます。(Warning! System will off xxxx sec.) もしスケジュールした OFF の期間にリモコン等で ON とした場合、同じように警告メッセージが表示されて、間もなく電源 OFF となります。



7.2 メニュー情報

リモコンのメニューボタンを押すことで設定メニュー画面を呼び出すことが可能です。カーネルバージョン、ファームウェアバージョン (AP Ver)、時刻設定、出力設定情報等確認ができます。

Setting menu		
System Information	Kernel Ver.	20110307
SD card	AP Ver.	QTSDM3-20110315-01-50-388-V03.00.000-QT-SP
Date Time	Date/Time	2011 / 03 / 16 Wed 13 : 28 : 32
Mode Change	OutPut Format	Both HDMI and VGA
	PIC Ver.	1.1.1.34 [128]
	UPT	299.66

7.3 SD カードのステータス確認とフォーマット

画面で SD カードのステータス (状態) 情報を参考までに確認することができます。(SD カードのステータス、ファイルシステム、容量、空き容量) SD カードをフォーマットするには付属のリモコンの “Menu” を押した後で、十字キーを使用して SD カードを反転させ、十字の右→ボタンを押してファイルフォーマットを選択してフォーマットします。(FAT32 または EXT3) Enter で決定します。

図示：

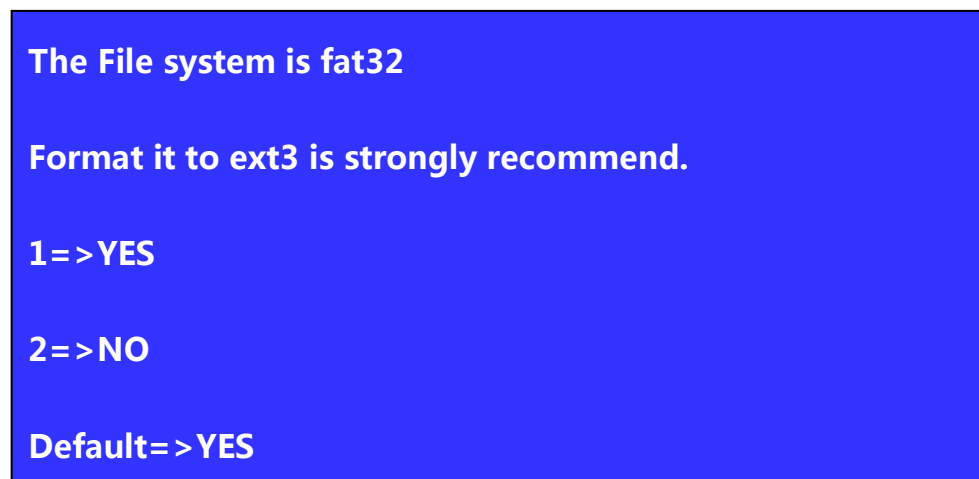
Setting menu		
System Information	SD Card Status	OK
SD card	FileSystem	vfat
Date Time	Total Space	7651 MB
Mode Change	Free Space	7648 MB
	Available space %	99.96 %
	Format To FAT32	do format
	Format To EXT3	do format

Setting menu		
System Information	SD Card Status	OK
SD card	FileSystem	vfat
Date Time	Total Space	7651 MB
Mode Change	Free Space	7648 MB
	Available space %	99.96 %
	Format To FAT32	do format
	Format To EXT3	do format

ご注意：

SD カードが挿入された状態で電源を ON するとシステムは SD カードのファイルシステムを確認します。もし SD カードが FAT32 であった場合、自動的に EXT3 にフォーマットします。(AP Ver20120412 以降)

図示：例（１）



図示：例（２）



7.4 日時・時刻の設定

リモコンで Menu を開き、下の矢印を押して[**DateTime**]項目に移動します。そして右の矢印を押し、DateTime で編集したい欄(年/月/日付/時/分/秒)に移動します。Enter ボタンを押すと、元の青いエリアが黒くなって編集できる状態になります。編集を終了する際、必ず **Apply** ボタンを押して適用することを忘れないようご注意ください。

例：

Setting menu		
System Information	OS TIME	2011 / 03 / 16 Wed 13 : 28 : 32
SD card	Date	2011 / 03 / 16
Date Time	Year :	2011
Mode Change	Month :	03
	Day :	16
	Time	13 : 28 : 32
	Hour :	13
	Minute :	28
	Second :	32
		Apply

(右矢印ボタンを押してステータスを表示します。)

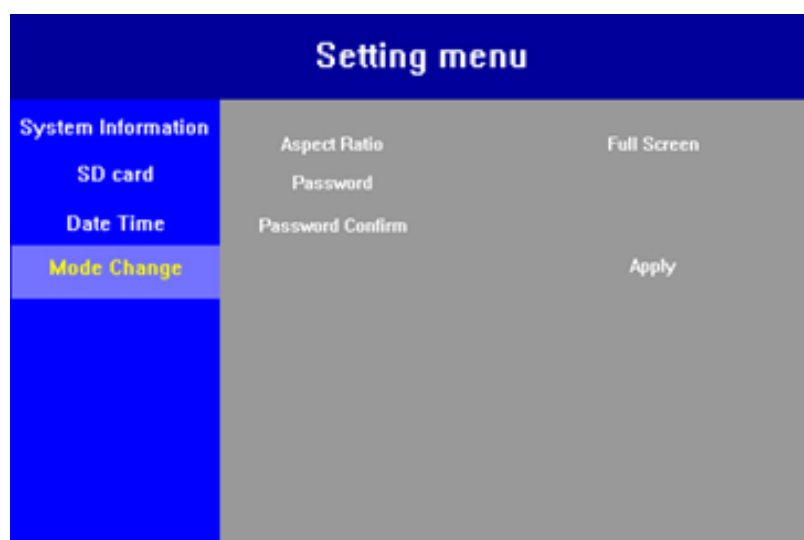
Setting menu		
System Information	OS TIME	2011 / 03 / 16 Wed 13 : 28 : 32
SD card	Date	2011 / 03 / 16
Date Time	Year :	2011
Mode Change	Month :	03
	Day :	16
	Time	13 : 28 : 32
	Hour :	13
	Minute :	30
	Second :	32
		Apply

(Enter ボタンを押すと編集モードになります。再度 Enter ボタンを押して編集した内容を保存します)

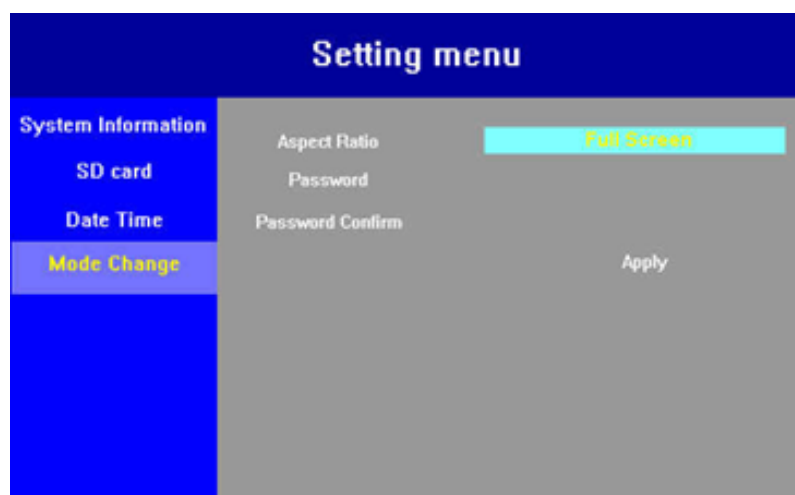
Setting menu		
System Information	OS TIME	2011 / 03 / 16 Wed 13 : 28 : 32
SD card	Date	2011 / 03 / 16
Date Time	Year :	2011
Mode Change	Month :	03
	Day :	16
	Time	13 : 28 : 32
	Hour :	13
	Minute :	28
	Second :	32
		Apply

7.5 アスペクト比の変更

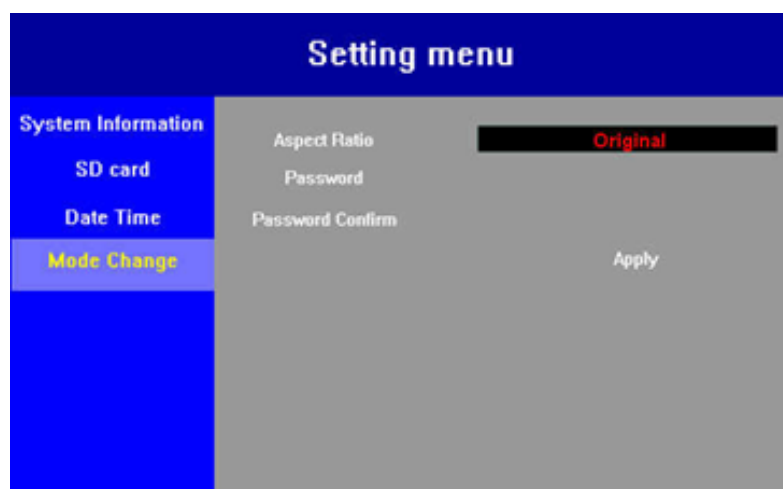
リモコンの “Menu” から矢印ボタンを使用して “Mode Change” を選択してください。右のテンキーを使用して Aspect Ratio にあわせませす。そして Enter を押すと、反転して文字背景色がライトブルーから黒となります。ここで Original アスペクトまたはフルスクリーンを選択します。



(図示)



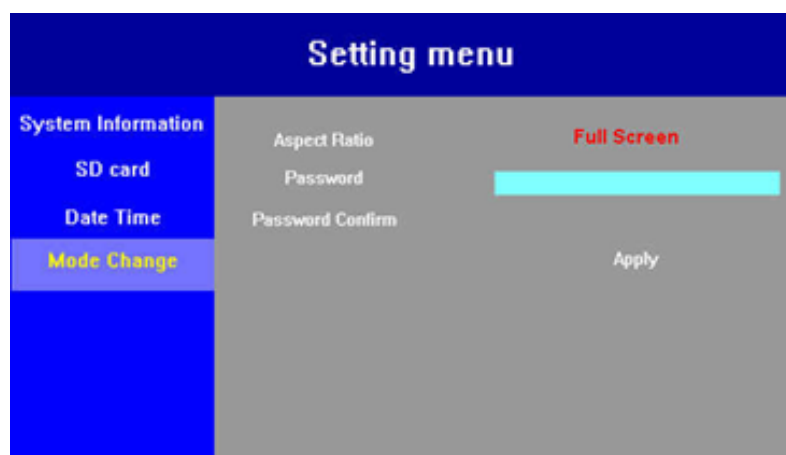
(リモコンの右矢印ボタンを使用して選択)



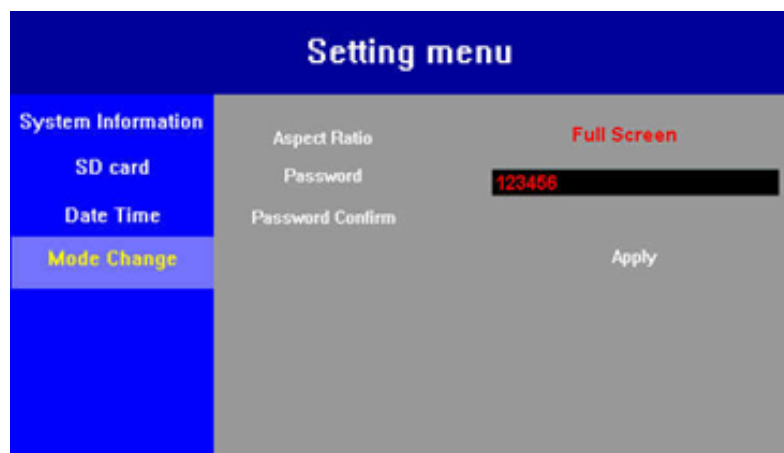
(Enter ボタンを押して決定。その後に Apply を押して変更内容を保存)

7.6 パスワード (メニューロック)

リモコンの“Menu”から矢印ボタンを使用して“Mode Change”を選択してください。右のテンキーを使用して“Password”に会わせて“Enter”を押下すると反転して文字背景色がライトブルーから黒となります。ここでパスワードを入力します。表示に従い、Password confirm フィールドにパスワードを再度入力します。(注意：最後に“Apply”を押して保存するのを忘れないでください)保存した後は、“Menu”を表示するときパスワードを要求されます。出力設定や、リモコンによる電源 OFF についても同様です。パスワード認証後は通常に機能を使用することができます。



(図示)



(“Enter”をおしてパスワードを入力します。入力後は“Apply”を押して保存します)

ご注意：パスワードは最大6ケタで設定できます

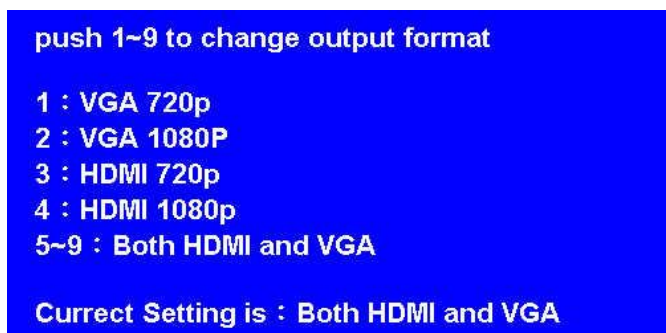
ご注意：パスワード設定を解除する

設定時と同様にリモコンを使用して入力したパスワードをリモコン左矢印キーを使用して、入力内容を消して再度“Apply”することでパスワードを削除できます。

7.7 出力設定の変更 (Output setting)

リモコンの[Output]ボタンを押してください。以下の画面が表示されます：

図示：



(出力フォーマットの種類を選び、数字ボタンを押して画面に選択した設定を表示します。)



7.8 デイリーリブートタイムの設定

リモコンの“Menu”から矢印ボタンを使用して“Mode Change”を選択してください。右のテンキーを使用して“Reboot time(hhmm)”にあわせて“Enter”を押下すると反転して文字背景色がライトブルーから黒となります。それからリブート設定時間を24時間制(hhmm)で入力してください。(注意：最後に“Apply”を押して保存するのを忘れないでください)

ご注意：リブート設定を解除する際は“9999”を入力して上書きしてください。

入力したら、“Apply”で保存するのを忘れないでください。

図示



8. USB オートコピーと消去(Copy & Erase)

8.1 コピーと消去

USB メモリを挿入した状態でプレーヤーを起動または再起動する際、プレーヤーシステムが USB と SD カードの内容を比較し SD カードを書き換えます。SD カード内にあって USB メモリに存在しないファイルを削除したり、USB メモリに保存されていて SD カードに存在しないファイルを USB メモリからコピーして SD カードに移したりします。

起動中のプレーヤーにコンテンツコピーの為に USB メモリを挿入する場合は一旦電源を OFF にして再起動します。

解説例：仮に SD カードには A,B,C,D 合計 4 ファイルがあり、一方、USB 内には C,D,E,F,G 合計 5 ファイルがあります。システムは本体 SD カード内の A と B ファイルを削除し、さらに自動的に USB の E,F,G ファイルをコピーして SD カードに移します。

8.2 ファームウェアのアップデート

ファームウェアをアップデートするためには、USB メモリ内ルートフォルダに **/home/update** のフォルダが存在しなければなりません。プレーヤーの USB スロットに差し込んで、本機を再起動するとプレーヤーが自動的にファームウェアのアップデートを行います。本作業時には、ファイルコピーとファイル削除は作動しませんが、Update 終了後にプレーヤーが再起動された際にオートコピーを実施します。**詳細は別途発行する、アップデート手順書を参照してください。**

8.3 SD カードをクリアする

もし USB メモリ内にコンテンツがない状態でプレーヤーの USB スロットに差し込み再起動した場合、SD カード内のコンテンツファイルが全部削除されます。ご注意ください。その際、画面は Welcome の画面に戻るようになります。

9. 設定画面 (OSD) のサイズ変更

※リモコンの Menu ボタンを押した後で、十字ボタンの左を押すと表示が 3 段階で変化します。Spanpixel 等のストレッチディスプレイでご使用いただく際にご活用ください。